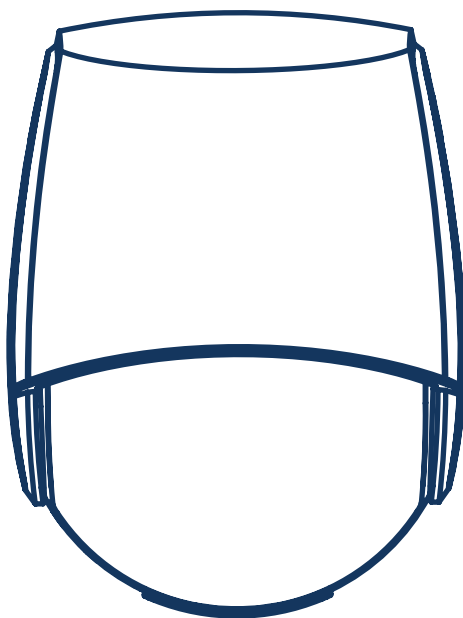


LZR[®]-WIDESCAN

JP

産業用センサー
安全と快適を創造する
3Dレーザスキャナーセンサー

WIDESCANアプリ
アプリのダウンロードは
こちらから



Bluetooth[®]

取説ソフトウェアバージョン: SW0400以降

WIDESCAN本体にソフトウェアバージョンは表示されます。

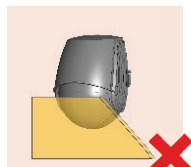
A Halma company



取り付け時の注意点



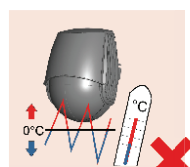
振動が激しい場所への設置は避けてください。



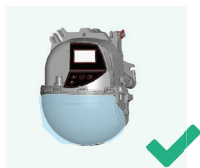
フロントスクリーンの前を遮断するものの設置は避けてください。



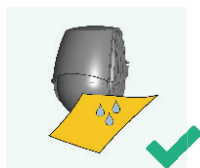
動体物が検知エリア内に入る場所への設置は避けてください。



極端な温度や湿度変化する場所への設置は避けてください。



取り付け時はフロントスクリーンにキズが付かないようにフィルムを付けておいてください。設定直前にフィルムを剥がすようにしてください。



フロントスクリーンを定期的（約3か月に一度）に柔らかい布（光学レンズクリーナー）で拭くようにしてください。



フロントスクリーンを拭く時、キズを付けないように柔らかい布（光学レンズクリーナー）で拭くようにしてください。



圧力の掛かった水などによるクリーニングは避けてください。

安全上の警告と注意

クラス1レーザ製品

警告！

取付け時にクラス2のレーザが放射します
目への直接被ばくを避けること

本製品は赤外線レーザダイオードと赤色可視レーザダイオードを内蔵しています。

赤外線レーザ：波長 905nm；パルス電力<0.1mW クラス1（赤外線レーザクラス1）

赤色可視レーザ：波長635nm；パルス電力<1mW クラス2（赤色可視レーザクラス2）

赤色可視レーザは調整時以外は作動しません。

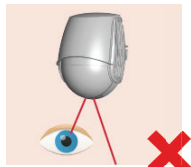
特定の取り付け業者または作業者のみが取り扱ってください。



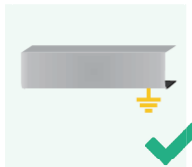
警告

人が死亡または重傷を負う可能性があります。

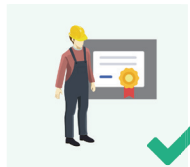
必ず取扱説明書を良く読み、理解したうえで取扱いに十分に注意してください。



赤色可視レーザ放射を直視しないでください。また、フロントスクリーンを直視しないでください。



設置する場所は正しくアースされている必要があります。



十分な知識を持った作業者のみ取り扱いが可能です。それ以外の方は触れないでください。



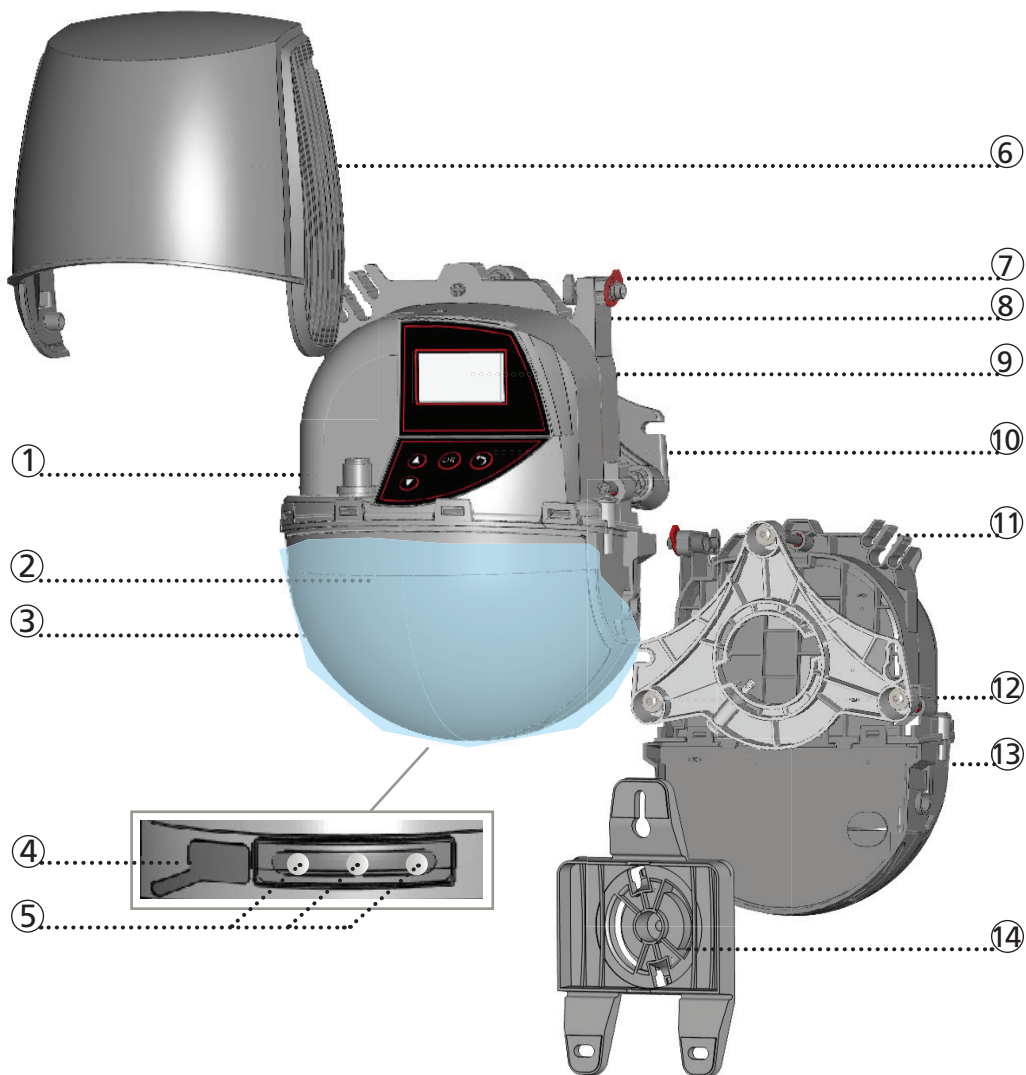
使用する前に、必ず正常に動作することを確認してください。



製品を分解したり、修理したり、または修理を試みたりすると製品の保証はなくなります。



- ・ 本製品は製造元の決められた用途でしか使用できません。用途以外で使用されると一切の保証がされません。
- ・ 用途に応じたすべての規制や安全基準及びガイドラインを良く理解して順守するようにしてください。
- ・ 誤った使用や調整などをした場合は一切の保証がされず責任を負うことができません。



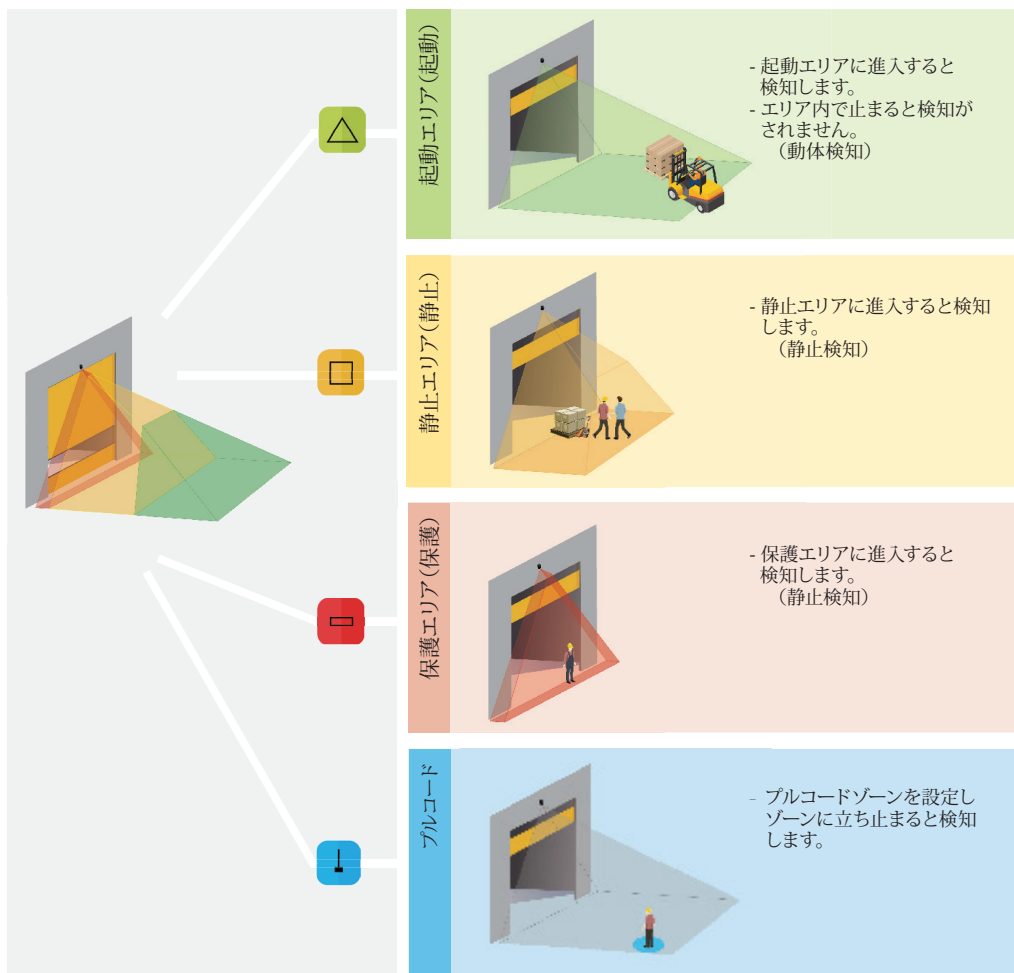
- ① 専用コネクタ
- ② 保護フィルム
- ③ フロントスクリーン
(レーザ放射部)
- ④ USBキャップ

- ⑤ LED表示
- ⑥ カバー
- ⑦ カバー固定具
- ⑧ ケーブルガイド
- ⑨ 液晶ディスプレイ

- ⑩ 押しボタン
- ⑪ 奥行(縦)調整ねじ1
- ⑫ 奥行(横)調整ねじ2
- ⑬ ブラケット固定ねじ
- ⑭ 取り付けブラケット

基本コンセプト：機能と役割

大きく分けて4つ（起動、静止、保護、ブルコード）の役割と機能で構成されています。



更に、起動エリアには下記の3つのオプション機能があります。（P16を参照してください。）。



動体プラス：設定した大きさの対象物が起動エリアに進入すると検知します。

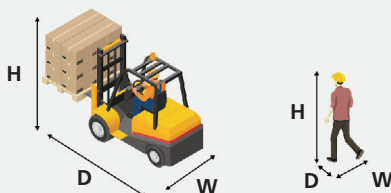


スピード検知：スピードが遅い車両を検知します。



高さ検知：床面から一定の高さの対象物を検知します。

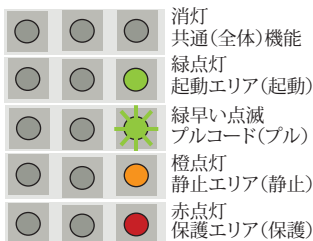
この製品は3D分析して、右図のように高さ、幅、奥行きにより検知判断しています。



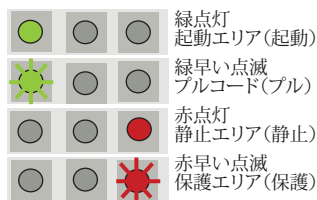
LED表示



設定



検知表示



表示記号



工場出荷値



重要! (警告または注意)



グッドポイント

主な機能



起動エリア(起動)



静止エリア(静止)



保護エリア(保護)

オプション機能



動体プラス



プルコード
(プル)

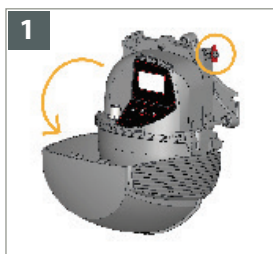


スピード検知

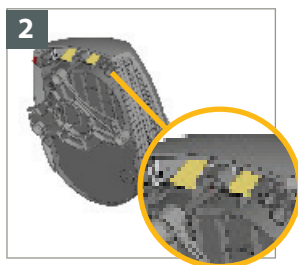


高さ検知

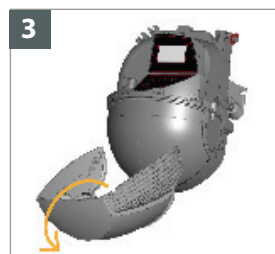
取り付け手順 (カバーの開け方)



カバーを開く前にカバー固定具で固定されていないことを確認してください。

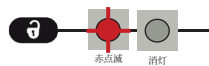


上図の位置にあるカバーのツメを軽く持ち上げてカバーを開きます。



必要に応じて、カバーの内側から軽く外に押し、カバーを外します。設置する前にカバーを外してください。

調整用リモコンで設定を変更する方法



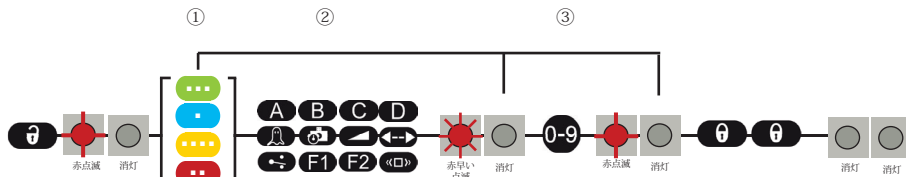
鍵解除ボタンを押すと赤LEDが点滅します。リモコンで設定変更ができる状態です。



赤LEDが早い点滅の場合は暗証番号の入力が必要になります。4桁の暗証番号を入力し解除してください。

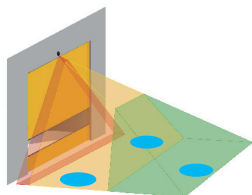


設定変更が終わりましたら、鍵ロックボタンを2回以上押して赤LEDが消灯するのを確認してください。



必要に応じて、①エリア（起動、プルコード、静止、保護）ボタンを押してください。
②機能ボタンを押してください。 ③数字ボタンを押してください。
もし続けて他の設定を変更したい場合は①から③を繰り返してください。

- ... 起動エリア
- プルコード
- 静止エリア
- .. 保護エリア



赤色可視レーザーのON/OFF	0/1
ティーチイン	0
ティーチイン（プルコード）	1/2/3
プレ設定	3/4/5
工場出荷リセット	8/9

液晶ディスプレイで設定を変更する方法（押しボタン操作）



液晶ディスプレイメニューの表示
決定ボタン（設定値、次ページ）

可視光線のON/OFF

センターポジション設定



上、下選択ボタン



最初に液晶ディスプレイメニューを表示する前に言語を選択してください。（日本語表示はありません）



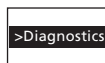
表示「More」を選択すると、次の詳細が表示されます。



パラメーター設定値の確認（工場出荷値）



必要に応じて暗証番号を入力してください。



必要に応じて、「Diagnostics」を選択して診断メニューへ移動します。



パラメーター設定値の保存

液晶ディスプレイの操作方法などについては、担当者へお問い合わせください。

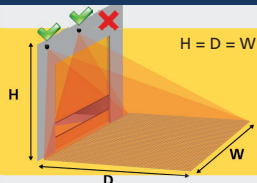
1a 取り付けと配線



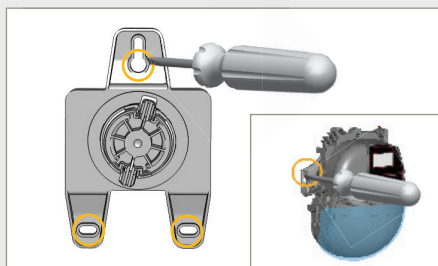
取り付け高さ：2m～6m

取り付け高さに比例して最大検知エリアのサイズが変わります。

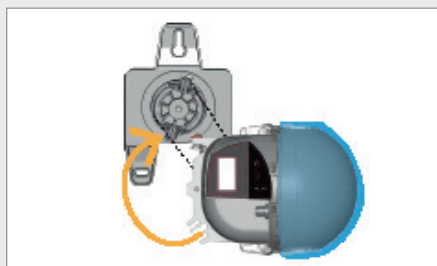
取り付け位置：ドアの中央または左側。ドアの右側への取り付けはしないでください。



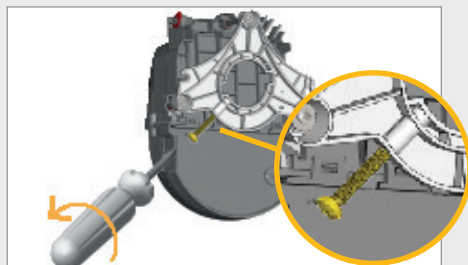
取り付け状況によって、ブラケットなどで取り付け位置を変更する必要があります。



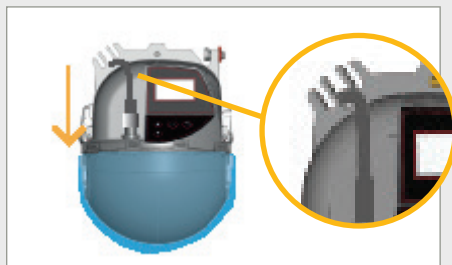
取り付けブラケットを設置する箇所へ3つのビスで固定してください。または取り付けブラケットを使用せずに直接2つのビスで固定してください。



上図のようにセンサーを横向きにして取り付けブラケットへセンサーを取り付けてください。



必要に応じて、ブラケット固定ねじを外してください。させていただきます。



上図のようにケーブルガイドを通してから専用コネクタを差し込むように取り付けしてください。

		赤黒	供給電源
*		黄	出力1**
*		桃	出力2**
		緑	出力3**
		白緑	
*		緑黒	
		青	テスト

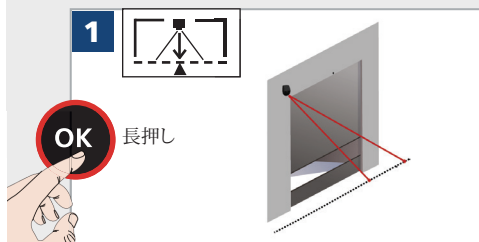
- ・配線は必要に応じて結線してください。
- ・用途やオペレーターによって、使用しない配線があります。
- ・使用しない配線は適切に処理してください。

* 工場出荷値、検知していない通常の状態を表示しています。

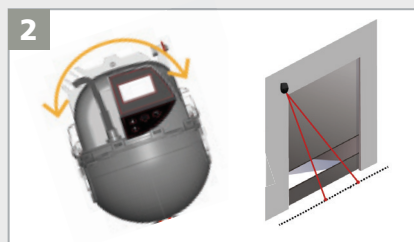
** P16を参照して下さい。

1b 取り付け位置（左側上部の場合）と検知エリア

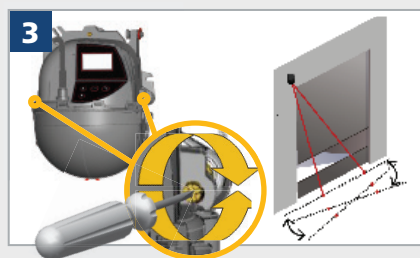
中央に取り付ける場合は、ステップ **1** **3** **4** **6** の手順を行ってください。
 左側に取り付ける場合は、全ての手順を行ってください。



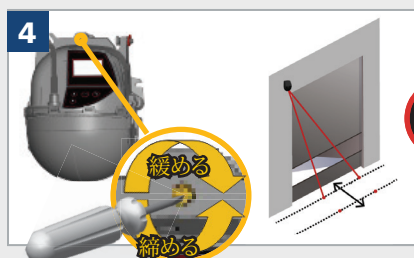
「OK」ボタンを長押しをして、位置設定モードにして赤色可視レーザーを上図のように照射してください。



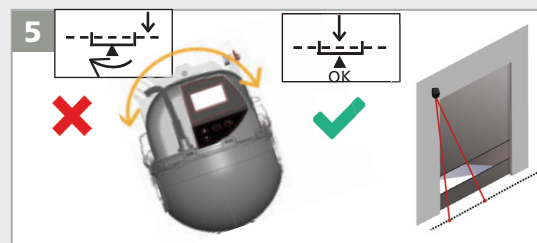
赤色可視レーザー2点の中央を開口の中央に合わせてください。



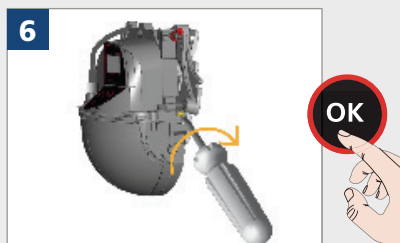
奥行（横）調整ねじ2を回してシャッターや開口と平行になるようにしてください。



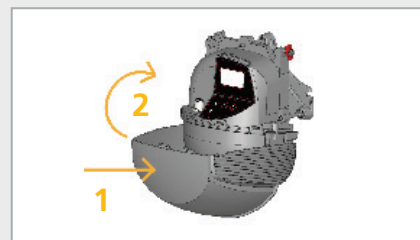
奥行（縦）調整ねじ1を回して緩めたり、締めたりして調整してください。終了しましたら「OK」ボタンを押してください。



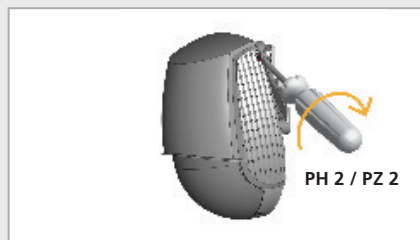
液晶ディスプレイの画面にOKが表示されるようにセンサーを回して設定してください。



液晶ディスプレイにOKが表示されたのを確認し、赤色可視レーザーが動かないようにブラケット固定ねじを締めてOKボタンを押して下さい。



1. カバーを水平にして固定してください。
2. 上に被せるようにカバーをしてください。

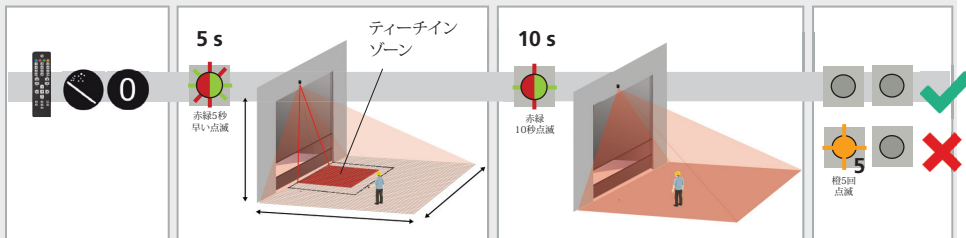


上図のようにカバー固定具をドライバーで回してロックしてください。

2 ティーチン



- ティーチンをする前に保護フィルムを剥がしてください。
- ティーチンをする前に動くものや可動するものなどはあらかじめエリアの外に出してください。
- センサーの角度を変更する度にティーチンを行うようにしてください。



上図のようにセットアップボタン⇒0ボタンを押す。

ティーチンは5秒後に開始されます。エリアから離れてください。また、ティーチンゾーンに物があるとティーチンは出来ません。

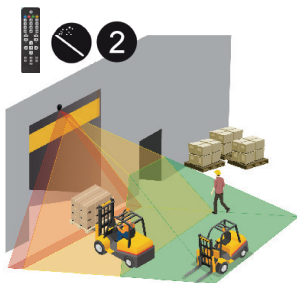
取り付け位置や高さや床面などを分析します。赤緑LEDが点滅中は検知エリア内に進入しないでください。

橙5回点滅発生した場合P18を見てください。

3 プレ設定

プレ設定は3つの中から選択できます。
プレ設定をすると各パラメーター設定が下図のように変更されます。(P10参照)

スタンダード



- ・歩行者用のドアがある場合
- ・大きなスペースがある場合
- ・進入方向が特定できない場合
(あらゆる方向から進入する場合)

△ - エリア：横幅最大、奥行最大
- 対象物：車両
- 方向検知：前進100%

□ - エリア：横幅最大、奥行3m
- 対象物：車両
- 静止検知時間：30分

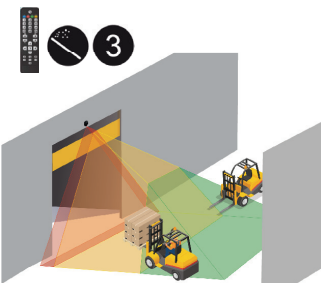
■ - エリア：横幅最大、奥行0.4m
(25cm以上の大きさは無限検知)

出力1 - 起動 or ブルコード △ ↓

出力2 - 静止 or 保護 □ ■

出力3 - 静止 + 高さ検知 □ ↑

通路



- ・平行車両が多い通路などの場合
- ・進入方向が特定できない場合
(あらゆる方向から進入する場合)

△ - エリア：横幅最大、奥行最大
- 対象物：車両
- 方向検知：前進100%

□ - エリア：横幅最大、奥行2m
- 対象物：車両
- 静止検知時間：無限

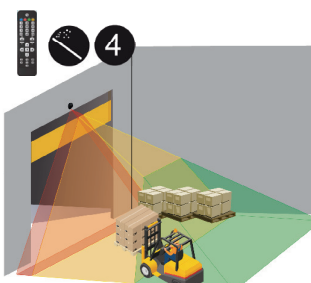
■ - エリア：横幅最大、奥行0.4m
(25cm以上の大きさは無限検知)

出力1 - 起動 or ブルコード or 保護 △ ↓ ■

出力2 - 静止 or 保護 □ ■

出力3 - スピード検知 »

コーナー



- ・コーナー、開口に壁がある場合
- ・平行車両が無い場合
- ・広いスペースがある場合

△ - エリア：横幅最大、奥行最大
- 対象物：車両
- 方向検知：前進

□ - エリア：横幅最大、奥行3m
- 対象物：車両
- 静止検知時間：30分

■ - エリア：横幅最大、奥行0.4m
(25cm以上の大きさは無限検知)

出力1 - 起動 or ブルコード or 静止 △ ↓ □

出力2 - 静止 or 保護 □ ■

出力3 - 静止 + 高さ検知 □ ↑

調整用リモコンの設定

☒ 赤点滅 ☐ 消灯 ☐ 消灯		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

	ティーチイン	ティーチイン									
	プレ設定	スタンダード 通路 コーナー									
	サービスモード	サービスモード：静止エリアと保護エリアが15分間無効になります。起動エリアを設定する時に必要に応じて使用してください。									
	工場設定	フル：全てのパラメーターは工場出荷値にリセットされます。 簡易：出力以外のパラメーターを工場出荷値へリセットします。 フル 簡易									
	赤色可視レーザ	赤色可視レーザを15分間ONにします。もう一度するとOFFになります。									

...	起動エリア	☒ 赤点滅 ☐ 消灯 ☐ 緑点灯										
C	横幅エリア	0000 - 9999		000 - 999 cm							B, C, Dを設定して検知エリアの大きさや、検知しないエリアを設定することができます。	
D	奥行エリア	0000 - 9999		000 - 999 cm								
B	非検知エリア	0000 - 9999		000 - 999 cm		000 cm						
	対象物	車両 XL: 長い4輪車が検知対象になります。 車両: すべての4輪車が検知対象になります。 動体: すべての動体が検知対象になります。										
	方向検知	双方向 前進 100%				後退		前進 100% +		前進		詳細はP12
	感度	1		2		3		4		低い数字の方が高感度になります。 (高1~4低)		

	ブルコード	☒ 赤点滅 ☐ 消灯 ☒ 緑早い点滅															
	ブルコードゾーン	# 1		# 2		# 3						人: 人を検知します。 車両 XL: 長い車両を検知します。 車両: 車両を検知します。 動体: すべての動体を検知します。					
	対象物	人						車両 XL		車両			人・車両				
	オンディレイ	0 s		1 s		2 s		3 s		4 s			5 s	6 s	7 s	8 s	stop

....	静止エリア	☒ 赤点滅 ☐ 消灯 ☐ 緑点灯														
C	横幅エリア	0000 - 9999		000 - 999 cm												
D	奥行エリア	0000 - 9999		000 - 999 cm		300 cm										
B	非検知エリア	0000 - 9999		000 - 999 cm		000 cm										
	対象物	車両 XL: 長い4輪車が検知対象になります。 車両: すべての4輪車が検知対象になります。 人・車両: 全ての人・車両が検知対象になります。														
	感度	1		2		3		4		5		低い数字の方が高感度になります。 (高1~5低)				
	静止検知時間	30 s		1分		2分		5分		10分		30分		60分	120分	無限

..	保護エリア	☒ 赤点滅 ☐ 消灯 ☐ 点灯														
C	横幅エリア	0000 - 9999		000 - 999 cm												
D	奥行エリア	0000 - 9999		000 - 999 cm		040 cm										
	感度	1		2		3		4		5		低い数字の方が高感度になります。 (高1~5低)				
	静止検知時間	30 s		1分		2分		5分		10分		30分	60分	120分	無限	
F2	非検知ゾーン	5cm		10cm		15cm		25cm		35cm		50cm		75cm	100cm	125cm

調整用リモコンの設定 (出力設定)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
赤点滅										
消灯										
消灯										
F1 出力1 (機能)	変更なし	起動	起動 or プルコード	起動 or プルコード or 保護	起動 or プルコード or 停止	プルコード	動体プラス	動体プラス & 高さ検知	動体プラス & スピード検知	
F1 出力2 (機能)	変更なし	静止	保護	静止 or 保護	静止 & 高さ					
F1 出力3 (機能)	変更なし	起動	プルコード	静止	保護	動体プラス	高さ検知	スピード検知	静止 & 高さ検知	静止 & 保護
出力1 (NO/NC) *				NO	NC					
出力2 (NO/NC) *				NO	NC					
出力3 (NO/NC) *		NC	NO							
出力1 保持時間	100 ms	1 s	3 s	5 s	10 s	30 s	1分	5分	10分	20分
出力2 保持時間	100 ms	1 s	3 s	5 s	10 s	30 s	1分	5分	10分	20分
出力3 保持時間	100 ms	1 s	3 s	5 s	10 s	30 s	1分	5分	10分	20分

出力1 出力2 出力3

F1 1 0 6

3 0 1

2 0 3

出力設定は3桁の数字を入力してください。

1桁目は出力1、2桁目は出力2、3桁目は出力3の入力した数字の設定へ変更になります。

数字0を入力した場合は変更されません。

※P16、P17を参照してください。

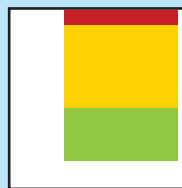
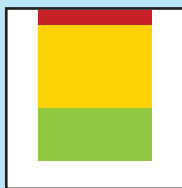
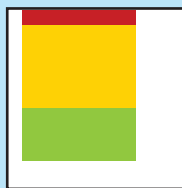
工場出荷値

* 待機 (非検知) 時の場合
** 待機 (非検知) 時の場合

A フィールドシフト

設定変更後はエリアを確認してください。 ← 40cm 30 20 10 0 10 20 30 40 cm →

検知エリアは全体的に中央から右か左にずらす事ができます。



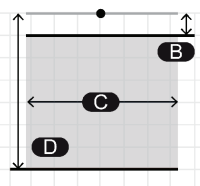
C エリアを選択せずに直接「C」ボタンを押すと3つのエリアすべての横幅が同じ設定になります。

ヒーティング機能: 液晶ディスプレイで Quick Start > More > Heating > **AUTO**を選択すると結露を防ぐ効果があります。(ただし、消費電流 (電力) が大きくなります。)

液晶ディスプレイQRコードによる設定の確認

スマートフォンやタブレットなどで液晶ディスプレイに表示されるQRコードを読み込むと文字列が表示されます。その文字列を弊社サポートチームへ連絡すると設定値を確認することができます。

起動エリア



車両 XL: 長い4輪車が検知対象になります。
 車両: 全ての4輪車が検知対象になります。
 動体: 全ての動体が検知対象になります。



双方向



双方向に動くものを検知します。
 センサーへ近づいたり、遠ざかったりする対象物を検知します。

1

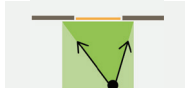
前進



前進する対象物を検知します。
 センサーへ近づく対象物を検知します。

9

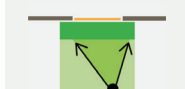
前進100%



前進する対象物を検知します。
 起動エリア幅に前進する対象物を検知します。

2

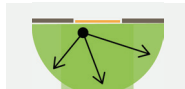
前進100%+



前進する対象物を検知します。
 起動エリア幅に前進する対象物を検知します。
 ただし、センサー側1mは双方向検知になります。

7

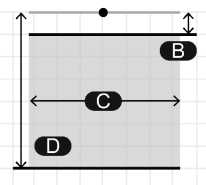
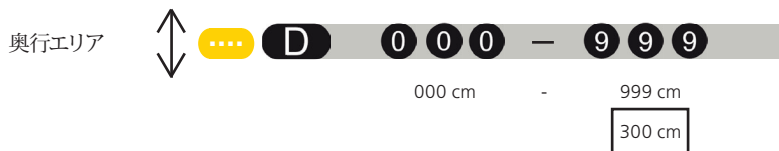
後退



後退する対象物を検知します。
 センサーから遠ざかる対象物を検知します。

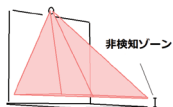
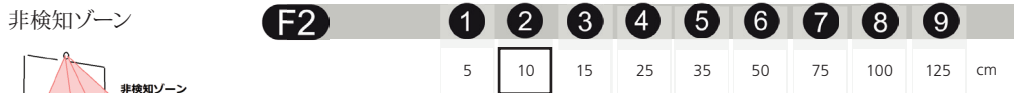
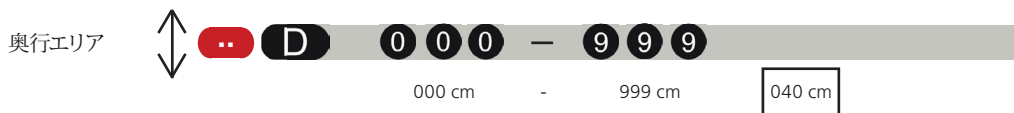
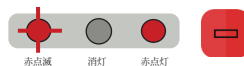
6

静止エリア

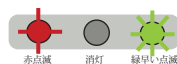


車両 XL: 長い4輪車が検知対象になります。
 車両: 全ての4輪車が検知対象になります。
 人・車両: 全ての人・車両が検知対象になります。

保護エリア

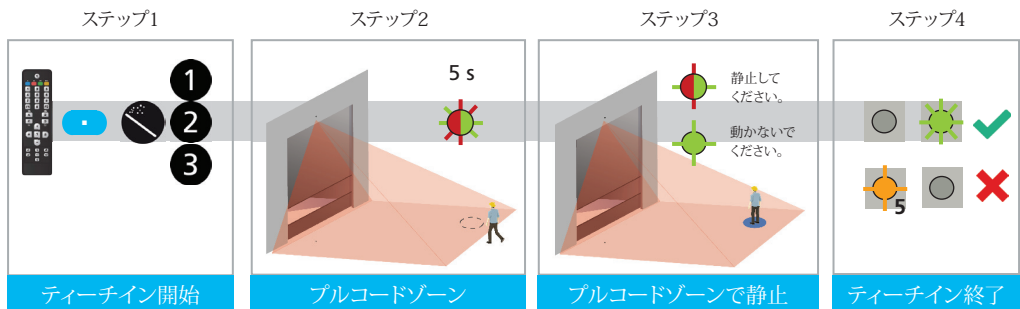


ブルコード



設定したブルコードゾーンに設定した秒数止まると検知します。

ブルコードゾーンを設定する



ブルコードゾーンは最大3つ設定することができます。

赤緑LEDが5秒間早い点滅をします。
5秒以内に設定するブルコードゾーンへ移動してください。
(ティーチン開始前にブルコードゾーンへ移動することをお勧めします。)

赤緑LEDが点滅をします。
ティーチンが始まりますので動かないで静止してください。

緑LEDが点滅をしている場合は位置を変更するか、動くのを止め停止してください。

もし、2人以上がエリア内にいるとセンサーに近い人のゾーンを設定します。

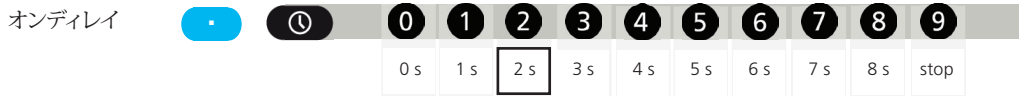
緑LEDが早い点滅している場合はティーチンが正常に終了したことを表します。

橙LEDが5回点滅している場合はブルコードゾーンの設定が正常に設定されていません。

下記の対象物サイズを設定することができます。



人: 人を検知します。(4輪車は検知しません)
車両 XL: 長い4輪車が検知対象になります。
車両: 全ての4輪車が検知対象になります。
人・車両: 全ての人・車両が検知対象になります。



0 s: 即時検知
stop: 完全に静止すると検知します。

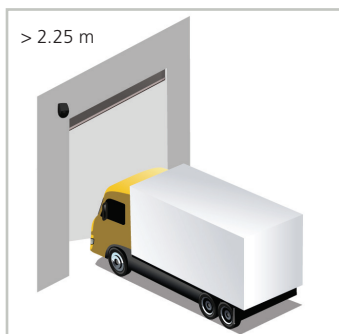
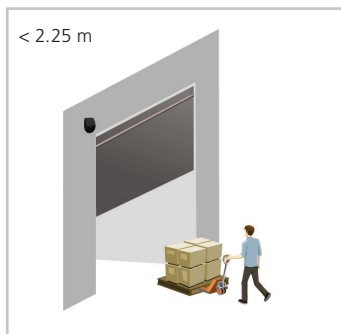
ブルコードゾーンの設定を消去したい場合はステップ1のティーチン開始をしてください。その際に検知エリアの外へ離れてください。橙LEDが5回点滅することを確認してください。確認後、鍵解除ボタンを押して、続けて鍵設定ボタンを押してください。

高さ検知

高さが2.25 m 以上の場合に検知して出力されます。(LEDの表示はされません)



この機能は対象物の高さでドアの開閉を制限するときなどに使用します。
出力設定とオペレーター側の機能で半開、全開を制御することが出来ます。



半開させたい場合

(F1) 出力1 (機能) を起動へ設定した場合

全開させたい場合

(F1) 出力3 (機能) を高さ検知へ設定した場合

液晶ディスプレイと押しボタンの設定で高さ検知の設定高さを変更することができます。

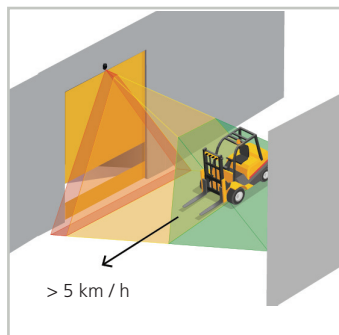
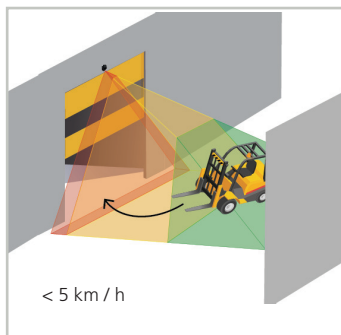
(1.75m、2.0m、2.25m、2.50m、2.75m、3.0m、3.25m、3.50m、4.0m)

スピード検知

スピードが5km/hより遅い場合に検知して出力されます。



この機能は通路が狭く横からの進入がある場合に有効な機能になります。



5km/h未満の速度で進入すると検知します。

5km/h以上の速度で横切る車両を検知しません。

液晶ディスプレイと押しボタンの設定でスピード検知の設定速度を変更することができます。

(5km/h、10km/h、15km/h、20km/h、25km/h、30km/h、35km/h、40km/h、45km/h、50km/h)

出力 1

主に起動出力に使用します。

NO



1	起動エリア	△	
2	起動エリア or プルコード	△	↓
3	起動エリア or プルコード or 保護エリア	△	↓ □
4	起動エリア or プルコード or 静止エリア	△	↓ □
5	プルコード		↓
6	動体プラス	▲	
7	動体プラス and 高さ検知	▲	↑
8	動体プラス and スピード検知	▲	≫

出力 2

主に保護や静止に使用します。

NC



1	静止エリア	□	
2	保護エリア		□
3	静止エリア or 保護エリア	□	□
4	静止エリア and 高さ検知	□	↑

出力3

その他の出力 (オプション機能)



1	起動エリア	△	
2	プルコード		↓
3	静止エリア	□	
4	保護エリア	□	
5	動体プラス		▲
6	高さ検知		↑
7	スピード検知		≫
8	静止エリア & 高さ検知	□	↑
9	保護エリア & 静止エリア	□	

(例)

F1 出力 1 出力 2 出力3

5	2	0
プルコード	保護	変更なし
1	0	7
起動	変更なし	スピード検知

上記の検知機能を組み合わせて、3つの出力に設定することができます。(P17参照)
調整用リモコンで出力設定を変更する場合は3桁数字を入力して変更してください。

- 1桁目は出力1
 - 2桁目は出力2
 - 3桁目は出力3
- 出力設定を変更しない場合は「0」を設定します。

トラブルシューティング

E1		E1: CPU-XXX(液晶)	センサー内部の故障。(基盤)	！ センサーを交換してください。
		E2: XXX PWR(液晶)	センサー内部の故障。(電源部)	！ センサーを交換してください。
E2		E2: IN SUPPLY(液晶)	供給電源が仕様範囲を超えています。	1 供給電源を確認してください。 (液晶ディスプレイを確認してください。)
		E2: TEMP(液晶)	使用周囲温度が仕様範囲を超えています。	1 センサーが取り付けられている環境を確認してください。 2 直射日光などで熱を保っている場合はカバーなどをして直射を避けるようにしてください。
E4		E4: FRONT MASKING(液晶) 一度検知すると5分間出力します	センサーの前に障害物があります。	1 フロントスクリーンを清掃してください。 2 障害物を避けてください。
			センサーはティーチンを要求しています。	1 角度や設定などを確認して、再度ティーチンをしてください。
E5		E5: FLATNESS(液晶)	ティーチンが不十分。	1 エリア内に動くものを置かないでください。(P9参照) 2 ティーチンをしてください。  0 左側のティーチンをしたい場合。  F1 3 右側のティーチンをしたい場合。  F2
		E5: TILT(液晶)	奥行角度の調整が不十分。	1 奥行の角度調整をしてください。(最大 15°) 2 再度、ティーチンをしてください。
		E5: AZIMUTH(液晶)	横方向の角度の調整が不十分。	1 横方向の角度調整をしてください。(最大 45°) 2 再度、ティーチンをしてください。
		E5: HEIGHT(液晶)	取り付け高さが仕様範囲を超えています。	1 取り付け高さを確認してください。(最大 6 m, 最小 2 m) 再度、ティーチンをしてください。
		E5: TIME-OUT(液晶)	エリア内で誤った動きが確認されました。	1 検知エリア内に動くものがないことを確認して、ティーチンを行ってください。赤緑LEDが点滅をしている時は動かないでください。 2 検知エリアを確認して再度ティーチンをしてください。
		E5: MASKING(液晶)	フロントカバーに障害物があります。	1 液晶ディスプレイでカーテン列数を減らしてください。(Quick start > More > Nb curtains) 2 警告 解除。
E6		E6: FQ OUT(液晶)	出力 1 の故障。	！ センサーを交換してください。
E8		E8: ... (液晶)	センサー内部の故障。 (回転ミラー)	1 -20℃以下の場合、加熱されるまで一定時間経過してから、動作確認をしてください。 2 経過後も動作しない場合は交換してください。
			センサー内部の故障。(メモリ)	！ センサーを交換してください。
		3秒間LED点灯 (MASKING)	センサーが壁側に向いています。	1 正しい位置に設置してください。
			センサーの前に障害物があります。	2 障害物を避けてください。
		LEDと液晶ディスプレイが消灯している。		1 電源配線を確認してください。 2 配線の接続を再度確認してください。
		出力がされていない。	サービスマード状態。	1 サービスマードを解除してください。(P10参照)
		調整用リモコンが反応しない。	暗証番号の入力がされている。	1 パスワードを入力してください。 パスワードを忘れた場合は電源切入して1分間以内に再度パスワードを上書き入力してください。
		開閉動作を繰り返している。	エリアと開閉ドアが重なっています。	1 センサーの角度を調整してください。

設定値

日付: 日付: 日付: 日付:

場所: 場所: 場所: 場所:

施工者: 施工者: 施工者: 施工者:

... 起動エリア

C 横幅エリア				
D 奥行エリア				
B 非検知エリア				
対象物				
方向検知				
感度				

• プルコード

プルコード				
対象物				
静止検知時間				

.... 静止エリア

C 横幅エリア				
D 奥行エリア				
B 非検知エリア				
対象物				
感度				
静止検知時間				

.. 保護エリア

C 横幅エリア				
D 奥行エリア				
感度				
静止検知時間				
F2 非検知ゾーン				

出力設定

F1 出力1 (機能)				
F1 出力2 (機能)				
F1 出力3 (機能)				

仕様	
品名	WIDESCAN (ワイドスキャン)
検知方式	レーザスキャナー (動体検知、静止検知)
最大検出エリア	横幅：1 m×取付高さ、奥行：1 m×取付高さ
取り付け高さ	2.0 m ～ 6.0 m
一列目カーテンのスポット径	0.5cm/m(取り付け高さ)
最低反射率	> 2 %
テスト対象物サイズ	700 mm × 300 mm × 200 mm
レーザ特性	赤外線レーザ 赤色可視レーザ
	波長905nm ； パルス電力 <0.1mW クラス 1 波長635nm ； パルス電力<1mW クラス 2
Bluetooth	周波数範囲：2402MHz - 2480MHz 最大送信電力 12dBm
供給電源	12V - 24V AC -10%/+20% ； 12V - 30V DC -10%/+20%
最大電力	ヒーティング off: < 2.5W ヒーティング auto: typ. < 10W, max 15W
応答時間	標準 230 ms (最大 800 ms) 設定によって変わります
出力	出力1、出力2 ソリッドステートリレー 2ab(ガルバニック絶縁 - 極性なし) 最大接点：24 V AC / 30 V DC - 100 mA 出力3 (オプション) 電気機械リレー 1c(ガルバニック絶縁 - 極性なし) 最大接点：30 V AC / 42 V DC - 500 mA
LED表示	LED橙：注意表示、LED赤点滅：保護エリア、 LED赤点灯：静止エリア、LED緑：起動エリア
テスト入力	30V DC (max, switching voltage) - low <1V,high> 10V (voltage threshold)
外形寸法	209 mm(10) × 159 mm(W) × 140 mm(D) (取り付けブラケット含む)
素材 / 色	PC/ASA / 黒
取り付けブラケット角度 (横回転)	右回し：45°、左回し：15°
取り付けブラケット角度 (奥行)	- 10° ～ + 5°
防塵・防水性	IP65
使用周囲温度	常時電源がONの場合：- 30℃ ～ + 60℃ 電源を入り切りする場合：0℃ ～ + 60℃
使用周囲湿度	0 ～ 95% (結露なきこと)
耐振動	< 2 G
適用規格	EN 61000-6-2; IEC/EN 61000-6-3; IEC/EN 60950-1; EN 62311;IEC/EN 60825-1

商品改善の為、予告なしに商品仕様を変更することがございますので承知おき下さい。

ビーイーエージャパン株式会社

〒220-0004

神奈川県横浜市西区北幸2-8-19 横浜西口Kビル

Tel:045-565-9560 Fax:045-565-9561



BEA hereby declares that the LZR®-WIDESCAN is in conformity with the basic requirements and the other relevant provisions of the directives EMC 2014/30/EU, LVD 2014/35/EU, MD 2006/42/EC and RoHS2 2011/65/EU.
Angleur, April 2017 Pierre Gardier, authorized representative and responsible for technical documentation



The complete declaration of conformity is available on our website.

Only for EC countries: According to the European Guideline 2012/19/EU for Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE)